

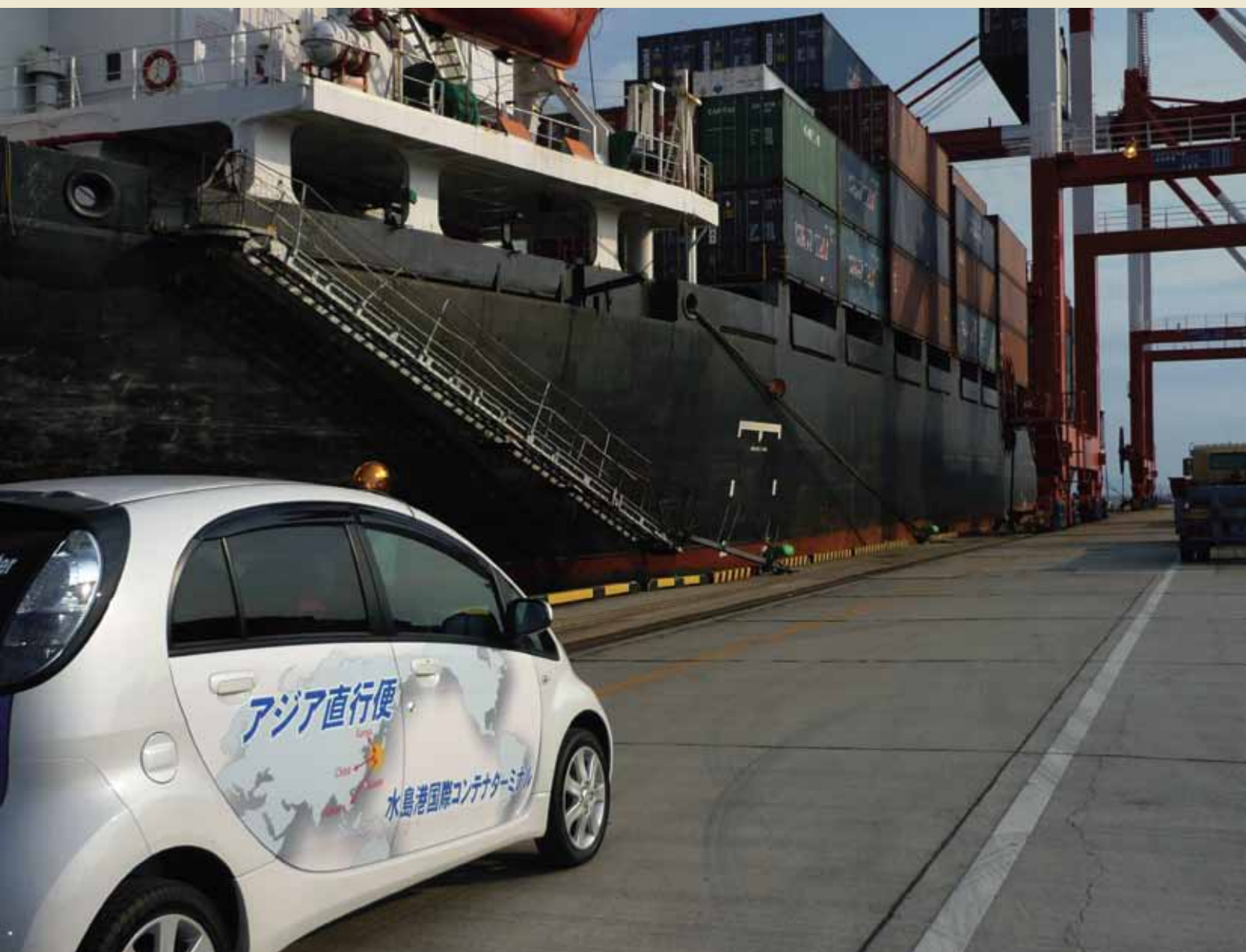
MiTA

2010/11/30

Vol. **40**

水島ポートニュース

Mizushima International Trade Association



Contents

水島港の国際バルク戦略港湾への応募

総合特区の提案 MITA活動状況報告 水島港見学会報告

玉島ハーバーアイランド浚渫土処理護岸工事状況

「水島港とその周辺」改訂

水島港の国際バルク戦略港湾への応募

岡山県は、M-IT Aと連携し、水島港の国際バルク戦略港湾への選定を目指して、8月3日付けで応募しました。8月20日には、国が設置した「国際バルク戦略港湾検討委員会」において、M-IT A会長でもある石井岡山県知事が応募内容についてプレゼンテーションを行い、水島港の優位性等をアピールしました。

国際バルク戦略港湾は、国の「選択」と「集中」の政策の一環であり、大型船の活用等により、バルク（ばら積み）貨物を取り扱うアジアの主要港湾と比較して遜色のない、物流コスト・サービスを実現し、我が国の産業や国民生活に必要な不可欠な資源、エネルギー、食糧等の物資を安定的かつ安価に供給することを目的としています。

国際バルク戦略港湾に選定されることにより、バルク貨物の一括大量輸送が可能で大型船に対応した、バルク貨物の拠点となる港湾施設が整備されることとなります。国際バルク戦略港湾の対象品目は穀物（とうもろこし、大豆）、鉄鉱石、石炭であり、水島港は穀物について応募しています。

平成20年の港湾統計では、水島港の総取扱貨物量は全国第5位、バルク貨物に限れば全国第3位で、中でも、穀物（とうもろこし+大豆）の輸入量は全国第2位、鉄鉱石の輸入量は全国第1位となっており、水島港は全国屈指のバルク貨物取扱港湾として重要な役割を果たしており、これらバルク貨物のほとんどは、水島港の臨海地区に立地する様々な企業において、原材料として使用されています。

水島港は、瀬戸内海の中央部に位置しており、内航海運の拠点となっています。だけでなく、山陽自動車道や瀬戸中央自動車道をはじめ東西南北に延びる高速道路網の結節点に位置し、海上交通と陸上交通の要衝となっています。また、水島港のメイン航路はすでに水深16mとなっており、潮汐を利用すれば、穀物の専用岸壁に至る一部の航路・泊地を掘り下げること、2014年に予定されているパナマ運河拡張後に登場する最大の穀物運搬船であるポストパナマックス船の満載での入港が可能となります。

現在、第1回のプレゼンテーションでの委員会意見を踏まえ、計画書の練り直しについて関係者で協議しており、12月に行われる第2回プレゼンテーションに向けて準備しているところです。今後とも、水島港の選定に向けて、県市・M-IT Aが一丸となって要望活動等を展開していきますので、会員の皆様方にもご支援、ご協力をお願いします。

◆水島臨海工業地帯に立地する企業(約270社が立地)



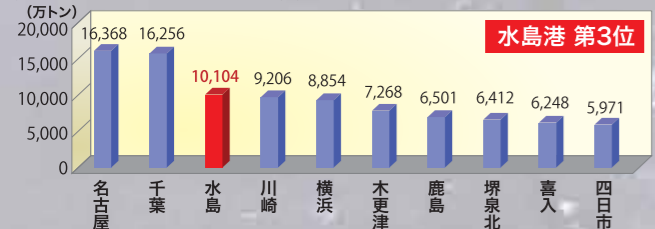
◆地域経済に貢献する水島港



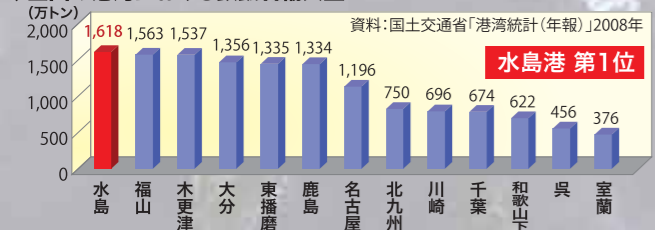
	面積(km)	事業所	従業員(人)	製造品出荷額等(百万円)
岡山県	7,113	4,172	154,776	8,713,960
倉敷市	354	1,003	42,372	4,830,921
水島港	25	269	25,038	4,420,976

岡山県統計管理課「平成20年工業統計調査結果速報」

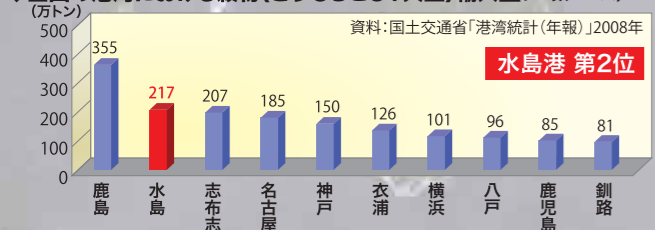
◆全国の港湾におけるバルク貨物取扱量(トン数ベース)



◆全国の港湾における鉄鉱石輸入量(トン数ベース)



◆全国の港湾における穀物(とうもろこし+大豆)輸入量(トン数ベース)



◆水島港の位置



- ・瀬戸内海中央部に位置し内航輸送の拠点
- ・山陽自動車道玉島IC及び瀬戸中央自動車道水島ICに近接

水島港は海上交通と陸上交通の要衝



「ハイパーコンビナート水島」では、水島コンビナート企業を核として、国際競争力の強化を図る。

総合特区の提案

岡山県は、国が募集していた「総合特区制度」の提案について、9月21日、国への提案を行いました。

「総合特区制度」において、国が想定しているものとしては、日本全体の成長を牽引し、国際レベルでの競争優位性を持ちうる限定された地域を対象とする「国際戦略総合特区」と、地域の知恵と工夫を活かし、地域資源を最大限活用した地域力の向上を図る「地域活性化総合特区」の2つの特区があります。

岡山県は「国際戦略総合特区」として、「ハイパーコンビナート水島」、「地域活性化総合特区」として「岡山グリーンバイオマス特区」、「革新的医療フロンティア岡山特区」の3つの特区についての提案を提出しました。

このうち、「ハイパーコンビナート水島」は、水島コンビナート企業全体を一つの企業とみなした「バーチャル・ワンカンパニー」による強固な企業間連携により、企業間でのエネルギーの共有化や原材料の相互融通等の実現をはじめ、電池材料などの高付加価値素材の供給・開発拠点化や新エネルギー、次世代自動車などの成長分野の産業集積等①高効率化、②低炭素化、③高付加価値化、④新たな産業集積、⑤インフラの機能強化の5つの戦略に取り組み、国際競争力を高め、日本を牽引するアジア有数のコンビナートを目指すものです。

今回の総合特区の提案は、提出を受けた国が総合特区の制度設計の参考とするためのものであり、正式な総合特区への募集、申請受付については、来年度以降となる予定です。



長田大臣官房総括審議官へ要望書を手渡す平山副所長



山縣大臣官房技術参事官へ要望の説明をする平山副所長



中国地方整備局にて要望するMITA要望団



要望概要

- 水島港の機能強化について
 - ・新高梁川橋梁について、国において整備を促進され、早期完成を図ること
 - ・国際コンテナターミナル水深12m岸壁について、国において整備を促進され、早期完成を図ること
 - ・玉島西航路の拡幅について、整備促進を図ること
- 水島港の「国際バルク戦略港湾」への選定について
 - ・水島港を「国際バルク戦略港湾」に選定し集中的な整備を図ること

8月18日、国土交通省中国地方整備局において、平山副所長（三菱自動車株水島製作所）を団長とする17名で構成されたMITA要望団が要望活動を行いました。要望会場には、高田港湾空港部長他6名の幹部に出席いただき、新高梁川橋梁・国際コンテナターミナル水深12m岸壁の早期完成をはじめ、水島港のバルク戦略港湾への選定等を要望しました。

高田港湾空港部長からは、本省へ予算を要望するにあたり、企業が集まったMITAのような団体からの声は非常に参考になり、説得力がある。今後とも企業の生の声をお聞かせ願いたいとのコメントがありました。

8月20日には、平山副所長を団長としたMITAの要望団が、国土交通省本省への要望活動を行いました。山縣大臣官房技術参事官、長田大臣官房総括審議官には直接要望書を手渡し、水島港の機能強化に向けた要望を行いました。

この後、衆議院、参議院各議員会館にてMITA顧問である国会議員の方に対し要望内容を伝え、水島港への一層の支援を願いました。今後ともMITAでは、水島港発展のため、要望活動を積極的に実施していきます。

6月30日、メルパルクOKAYAMAにてMITA役員会、総会を開催しました。総会では、89名の方に出席いただき、平成22年度役員、顧問の変更、平成21年度活動報告、及び決算報告、平成22年度活動計画、及び予算案についていずれも承認されました。

総会後、財団法人国際臨海開発研究センター調査役の館野美久（たてのよしひさ）氏に「世界の海運の現状分析」と題して、世界的な海運会社の動向や、日本の海運との比較、海運業界が抱える問題等、最先端の海運の動向について講演いただきました。



館野 美久氏



開会の挨拶をするMITA副会長の伊東倉敷市長





船内からコンテナトを見学!

船内から水島コンテナト・水島港国際コンテナターミナルを見学。

玉島ハーバーアイランドと水島コンテナトの

海上からの見学会を開催!

夏休み期間中の8月24日(火)、20組38名が参加して水島港見学会が開催されました。この見学会は、「最先端のものづくりと水島港の関わり」について理解を深めてもらおうと毎年MiTAが開催しています。

今回は、チャーター船による海上からの見学会として、児島観光港を出発し、釜島・松島・瀬戸大橋・六口島を見学した後、玉島ハーバーアイランドから水島コンテナトを周って、児島港へ帰るというコース。現在、沖出し工事が進行中の玉島ハーバーアイランドでは、コンテナターミナルに新たに整備している水深12m岸壁用の基礎となる巨大なケーソンや、水島



作業中のコンテナ船を見学!

水島港国際コンテナターミナル6号埠頭。韓国からのコンテナ船が入港していました。

港国際コンテナターミナルのガントリークレーン、水島コンテナトでは、JFEスチール(株)の「高炉」「コークス炉」、巨大なタンカーが入港するJX日鉱日石エネルギー(株)、三菱自動車工業(株)の自動車運搬船などを見学し、水島コンテナトの生産活動について理解をしていただけたようです。

重要な産業基盤である水島コンテナト、その生産活動を支える水島港、この二つの結びつきを学び、感じ取ることで見学会となりました。

日頃見ることができない玉島ハーバーアイランドやコンテナト企業を海の上から見ることで新しい発見がありました。

感想文のご紹介

◎金色のスクリーがすごかった。船で海をすんでいるとすごく大きい船がおどってきたからびっくりした。その岩がすごかった。玉島のわいてにうめるコンクリートがでかいからすごかった。水島港国際物流センターが海の上にあるからすごかった。
(暁高小4年/小島剛志さん)

◎象岩に非常に感動しました。六口島・釜島・松島は、人口が少なくてびっくりしました。瀬戸大橋の下も通れて感動しました。水島には、あんなにも工場があつてびっくりしました。水島から韓国など外国に船がいつているのを聞いてびっくりしました。船の通る道があつたり、たくさん船が行き来することをきいてとても勉強になりました。ありがとうございました。
(天城小4年/高見一平さん)

◎クレーンでコンテナをもちあげていたのでびっくりするのと思いました。すごかったです。めずらしい船がたくさん見れたので楽しかったです。ソウ岩を近くで見せてくれたのでうれしかったです。勉強になりました。
(琴浦西小4年/高田菜々香さん)

◎一番すごかったのは、象岩です。自然がそこまでするのは、とてもすごいことだと思うので、本当にヒックリしました。JFEのまわりに行ったことがあるのですが、海から見ると「工場!」っていう感じでした。かっこいいです。いろいろな船がきてよかったです。水島港のすばらしさを学ぶことができました。ありがとうございました。
(万寿東小6年/松田拓朗さん)

◎コンテナがたくさんあつたのでどうやって重ねているのかが分かりました。上のきかいでうごかしてコンテナをもつのが分かりました。自動車工場がものすごく頭がいんだなと思いました。それに鉄の板があんな形の車をつくれるなんてびっくりしました。
(大高小5年/岩倉友和さん)

◎ひっこして、まだ1年しかたつていなくて、水島の方のことをあんまり知らなかったでこれからの勉強の役に立つかもしれないと思つて、しっかり話を聞きました。舟に乗るのも初めてだったので、初めて舟に乗ったのはいつだったの?と大きくなって考えるたびに、教えてもらった事も思い出せそうです。
(児島小4年/森垣隆暉さん)

◎船に乗ったのがすごく久しぶりだったので思つたより楽しく乗れた。瀬戸大橋の下を通つたとき、橋のつくりが少し見えてかっこよかった。船の道があるのに吃驚した。船も勝手にいらないんだなと思つた。
(連島南中1年/新谷洋人さん)



国指定天然記念物「象岩」
花崗岩の巨石が波に削られてできた奇岩で、巨象が水と戯れている姿に似ているところから、この名がつけられた。下津井港沖の六口島の南端に位置する。

玉島ハーバーアイランド 浚渫土処理 護岸工事状況



の投入完了後はその上にコンクリートのブロック等が設置されます。ブロックが設置された護岸背後の「プール」には、航路や泊地を掘削したときなどに出る土砂が投入され、最終的に、「この「プール」が一杯になることで、埋立が完了します。

玉島ハーバーアイランドの南の沖では、浚渫土処理護岸の工事が岡山県によって進められています。現在は、埋立予定地を囲むように基礎となる石を投入しているところであり(写真)、石

「水島港とその周辺」改訂

MIZUSHIMA PORT 水島港とその周辺 2010



岡山県が発行している「水島港とその周辺」が改訂されました。主な改訂内容は、前号のポートニュースで紹介した玉島西航路の港湾計画図への追加、水島港のデータの更新等です。水島港とその周辺には、港湾計画図の他、水島の歴史、利用状況のデータ、定期航路、港湾施設の料金表等、最新の水島港の情報が掲載されています。

今号の表紙

水島港国際コンテナターミナルの管理運営を行っている水島港国際物流センター(株)が電気自動車を導入しました。表紙の写真はその電気自動車です。三菱自動車製のアイミーブで、水島港PRのためのラッピングが施され、水島港をイメージするブルーが配色されています。水島港の広告塔として今後の活躍が期待されます。



おわびと訂正

前号のポートニュースが38号となっていました。訂正は39号でした。お詫びして訂正いたします。

